

魅力発信レポート

～ひと味違う町工場～



プラスチック成形加工なら
何でもご相談ください！

株式会社 松本製作所

目次

ごあいさつ	1
1 経営理念	2
2 事業概要	
2-1 取扱製品	3
2-2 受注から納品まで	5
2-3 弊社の設備	6
3 ひと味違う町工場	
★ 魅力のあらまし	7
3-1 弊社ものづくりの特長	8
3-2 多様な製品を、高品質・短納期・適正 価格で提供できる生産力	9
3-3 自社製品の開発・生産・販売	11
3-4 人間味あふれる社長の魅力	12
★ 社長：松本 浩秀『私の履歴書』	13
4 今後の事業展開	15
5 会社概要	17
あとかぎ	20

ごあいさつ

1969年の創業以来、音響製品、自動車の樹脂関連部品の大量生産を皮切りに、時代のニーズに応じて、一貫してプラスチックの成形加工に携わり、2008年10月に創立40周年を迎えることができました。国内製造業を取り巻く厳しい経済情勢の中、弊社がここまで来られたのは、ひとえに多くのお客様から厚い信頼を賜り、技術を育てて頂いたことにほかなりません。

今後も進化するために弊社は、これまでの常識にしばられることなく、＜プラスチック成形加工＞を通じて新たな技術に挑戦する、お客様にとっての＜ものづくり＞のよきパートナーでありたいと願っています。何卒、今後ともより一層のご支援、お引き立てのほどよろしくお願い申し上げます。

また、2013年11月より、自社ブランド：アロマレフレール（香りのカード）を立ち上げることが出来ました。町の小さな工場の夢と言っても過言ではない自社製品を作ることができ、非常に有難く感じております。

これまでの町工場という認識から一歩抜け出し、一企業として同業者の方や同じような境遇の方々に少しでも夢や目標を持って頂けるよう、これからも知り合えた皆様と共に歩んでいきたいと思っております。

平成29年11月
代表取締役 松本 浩秀



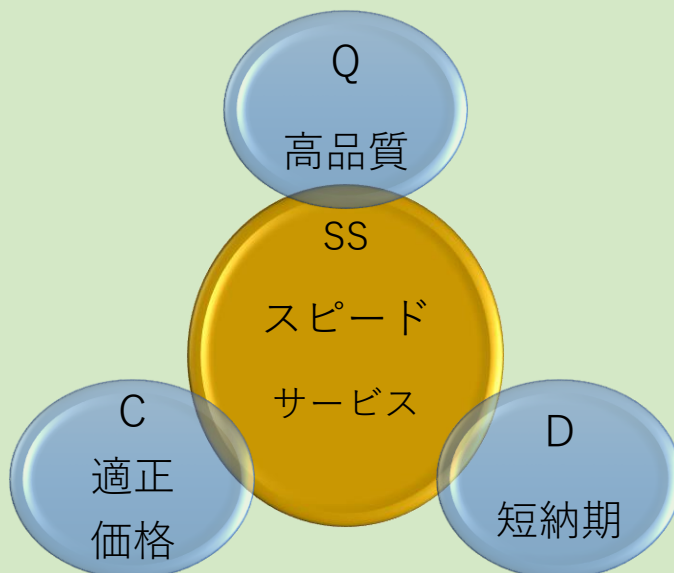
1.経営理念

基本理念

既成概念にとらわれない
発想力での「ものづくり」
~scrap AND build~

モットーはQCD+SS

品質第一をモットーとし、高品質（Q）適正価格（C）短納期（D）を実践します。また、何よりもスピード感を大切にしながらサービス向上に努め、お客様の満足度を高めます。



社訓

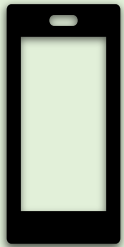
- 一、まずやる！
- 一、できるまでやる！
- 一、何とかやっけてのける！



2. 事業概要

2-1 取扱製品

お客様のご用途に応じて、様々なプラスチック部品の成形加工を承ります。ガラス繊維（GF）や炭素繊維（CF）含有製品の生産もいたします！



液晶パネル関連

<使用材料> PC(エコ難燃、GF含有、CF含有)

液晶バックライトフレーム(中、小型フレーム、液晶パネル内外装品)

アミューズ用、産業機器用(16～23インチ)

ノートPC向け(10～15インチ)

小型(カーナビなど) (4～9インチ)



自動車部品

<使用材料> ABS,PBT

特殊車両部品・モーター可動部品



OA機器

<使用材料> ABS,PC(GF含有),PA,POM

機構部品、ギヤー(等級3～5級)



防犯・防災

<使用材料> ABS,PC,PMMA,PPO

警報装置 (スイッチ部カバー)



計測器、電源装置、スイッチボタン

<使用材料> ABS,PA,PP,PPS(GF40%),PSF

ACアダプター、カバー類、電池類

注) PC:ポリカーボネート樹脂、ABS:アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン樹脂、PBT:ポリブチレンテレフタレート樹脂、PA:ポリアミド樹脂、POM:ポリアセタール樹脂、PMMA:アクリル樹脂、PPO:ポリフェニレンエーテル樹脂、PSF:ポリスルホン樹脂

2.事業概要

★ 弊社製品の紹介

＜外装品＞各種計器、測定器、呼び出し機器など

用途実例：警報機、A Cアダプター、企業様向け産業プリンターなど



外装品
(スモーク着色)



外装品 + 機構部品
(完成品)



外装品

＜内装品＞(フレーム、シャーシ)

液晶画面を備える製品全般のフレーム、シャーシ部分の作成

用途実例：パソコン、携帯電話、固定電話F A X機、電子レンジ、体重計、ポット、その他各種白物家電



機構部品



液晶品 (3～23インチ)

2.事業概要

2-2 受注から納品まで

全体の流れ

設計レビュー

- お客様から製品の設計図をいただいた際に、金型製作や成形加工時に起こりうる不具合を想定し、設計にフィードバックします。
- 三次元データをもとに製品の完成図を作成し、また必要に応じて3Dプリンターで完成試作品を製作し、仕様確認をします。

試作・評価

- 設計レビューを通じてお客様の承認を得た後、金型図を作成し、提携先の金型メーカーにおいて金型を製作します。
- 出来上がった金型により成形品の試作を行い、その後、必要に応じて金型の微調整を行います。

量産移行

- 試作品についてお客様の了解を得た後、量産に移ります。
- 最後に、量産成形製品の検査を行い納品となります。

★ なお、弊社への金型の持ち込みによる試作品の製作も行っています。

品質管理

- ★ 製品のクレームゼロを目指すとともに、できるだけ無駄のない生産に努めています。
また、不具合の対処にあたり、再発防止の徹底や、必要に応じて金型構造に立ち返るなど根本からの見直しも行っています。

社内方針

異物不良の低減

- 環境から異物発生原因を除去
 - ※ クリーンタイムの設定
- 異物低減の継続を図るため、同色・同材質の生産を連続して実施
- 専用パージ材及びメーカー資料に基づき、異物不良の発生を抑制

クレームゼロ推進（不具合発生への減少）

- 承認サンプルの作成及び保管
- 量産品の作業手順書及び検査手順書の作成
- 不良内容の把握⇒再発防止策の構築

なお、移管金型において、歩留り率が低い場合、根本からの見直し（金型構造からの検証）を実施

2.事業概要

2-3 弊社の設備

大きさや材質など多様な製品の生産に対応できる射出成形機を保有しています。

設備機械名	保有台数	メーカー／型番	能力(t)	備考
射出成形機	1台	日本製鋼所 J350EL II	350 t	電動式
射出成形機	1台	日本製鋼所 J220EL III - HS	220 t	電動式(高速)
射出成形機	1台	日本製鋼所 J110EL II	110 t	電動式
射出成形機	1台	日本製鋼所 J35AD	35 t	電動式

※ 1 Mpa=10.2kgf/cm²、1kN=0.102tf

型名(機種)	タイバー間隔(H×V)	金型厚さ	型開ストローク	Rリング径	ノズルR	射出容量(cm ³)	最大射出圧力(kgf/cm ²)
J350EL II	730×730	300~670	600	Φ150	R10	510	132Mpa
J220EL III	590×590	230~500	550	Φ120	R10	349	216Mpa
J110EL II	410×410	200~400	350	Φ100	R10	176	1600
J35AD	310×290	150~330	230	Φ60	R10	25	270Mpa

- 超音波溶着器 (超音波工業(株)製 15kHz P1200)
- 三次元測定器(中村製作所 カノンEXLON-Z II)
- 温調器…各機種に付属。高温対応 (200℃以上)仕様 1台あり

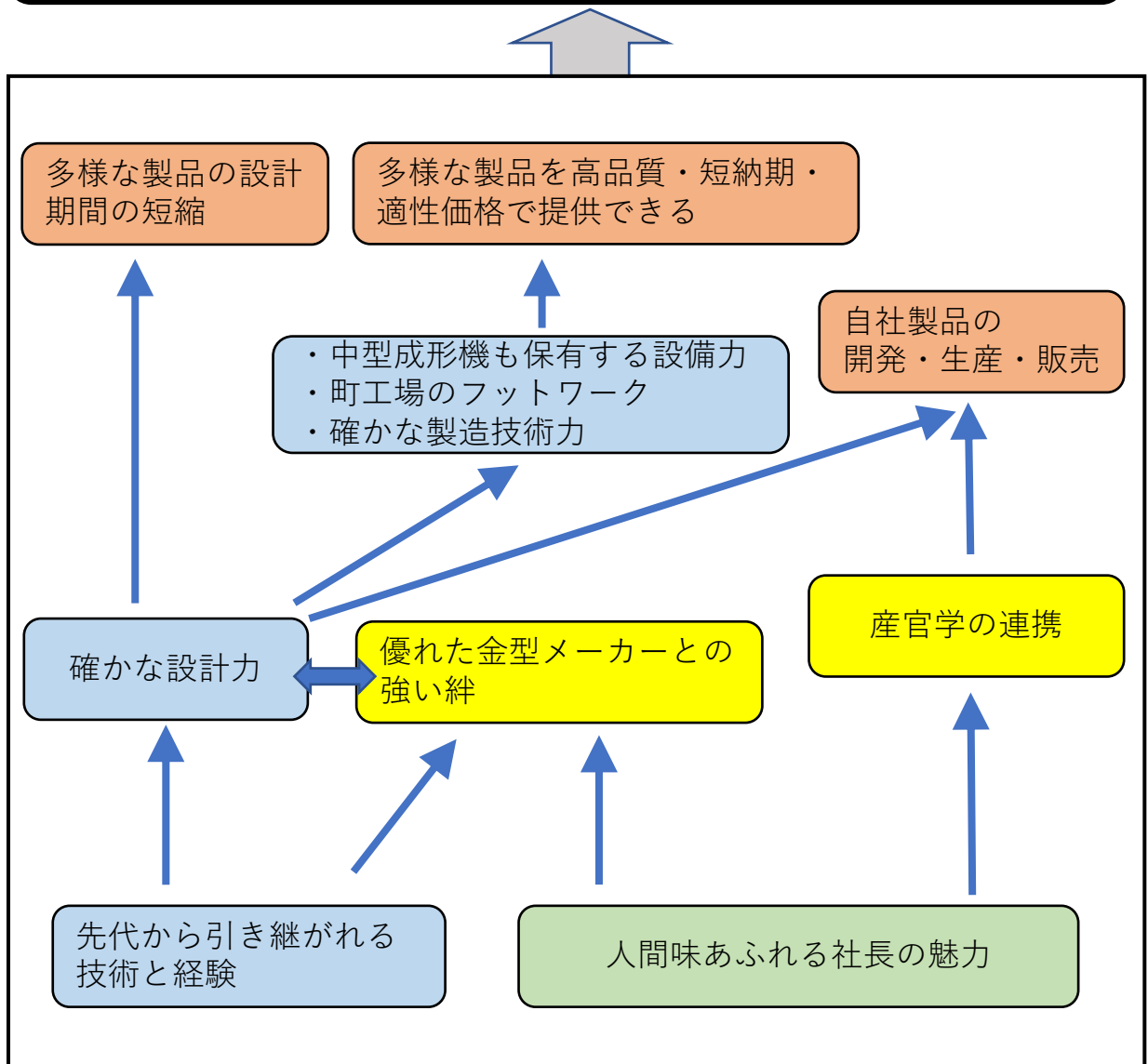


搬出入口

3.ひと味違う町工場

魅力のあらまし

★ 大手完成品メーカーと直に取引できる技術力と信頼性



○まずやる！できるまでやる！何とかやってのける風土
○ものづくりに恵まれた立地環境

注)

緑色：人的資産

青色：組織資産

黄色：関係資産

3.ひと味違う町工場

3-1 弊社ものづくりの特長

◆プラスチックのあらゆる悩みに応えます

これまでの常識にとらわれることなく、柔軟な発想力と確かな技術で、お客様のご用途に応じた最適なお提案をさせていただきます。

◆小ロットから承ります

「必要な数量を必要なときだけほしい！」お任せください！各種汎用プラスチックからスーパーエンブラまで、小ロットから承ります。

◆試作支援も承ります

弊社では量産を見据えた様々な試作支援も行っています。成形する製品が特殊な形状をしている場合、あるいは特殊な塗装や加工が必要な場合など、試作品成形によって、ご確認いただくことができます。

◆即納主義です

町工場ならではの、フットワークの良さと柔軟性で、即日対応も可能です。

◆各種射出成形機で多様な製品に対応します

多様な製品成形に対応するため、大きさに幅を持たせた各種射出成形機4台を配備。電動機を各トン数で取り揃えております。

◆高精度の確かな技術を生かします

プラスチックは鉄よりも軽量で成形しやすいなど多くの長所を持つ反面、膨張しやすいのが難点ですが、弊社では確かな技術のもと、図面の精度の範囲に的確に収めることにこだわります。

◆環境保全に取り組んでいます

弊社では成形加工時に生じた樹脂片の一部を再生利用（リサイクル）しています。さらに、新たに再使用（リユース）にも取り組んでおり、限りある資源を大切に、小さな取り組みから環境保全と、コスト削減に努めています。



3.ひと味違う町工場

3-2 多様な製品を、高品質・短納期・適正価格で提供できる生産力（その1）

★大手完成品メーカーと直に取引できる技術力と信頼性

① 金型製作段階の手戻りが少ない

- 社長の培った経験から早い段階で設計の改善を提案できる技術力があります。
- 三次元データをもとに製品完成図を描き、お客様に分かりやすく説明しています。さらに、必要に応じて3Dプリンターで完成試作品を作成するなど、手戻りを防いでいます。
- 加工精度の高い優れた金型メーカー（提携先）と強い絆があります。このため、複雑な金型も精密に製作できます。
<提携先>
 - ・株式会社 清田エンジニアリング（千葉県浦安市）
 - ・有限会社 東栄精工（川崎市高津区）

② 多様な製品が製造できる設備力

- 様々なサイズの製品で、かつ精密な製品を幅広く受注できる設備を保有しています。
とりわけ**200トン以上の中型の射出成形機**は同規模企業では類をみないものです。
- 自動車、家電製品、工業製品など多様な分野の製品を生産することができます。



3.ひと味違う町工場

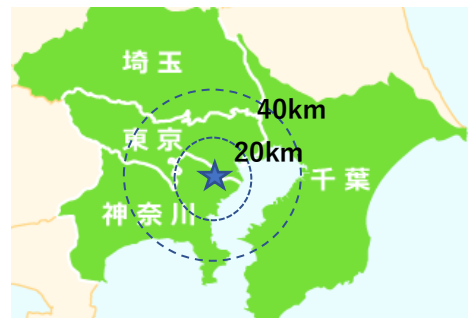
3-2 多様な製品を、高品質・短納期・適正価格で提供できる生産力（その2）

③ ガラス繊維含有製品や、スーパーエンプラも受注可能

- 高温での成形が必要なガラス繊維・炭素繊維を含有する製品やスーパーエンプラ（特殊樹脂）も生産できます。

④ 優れた工場の立地環境

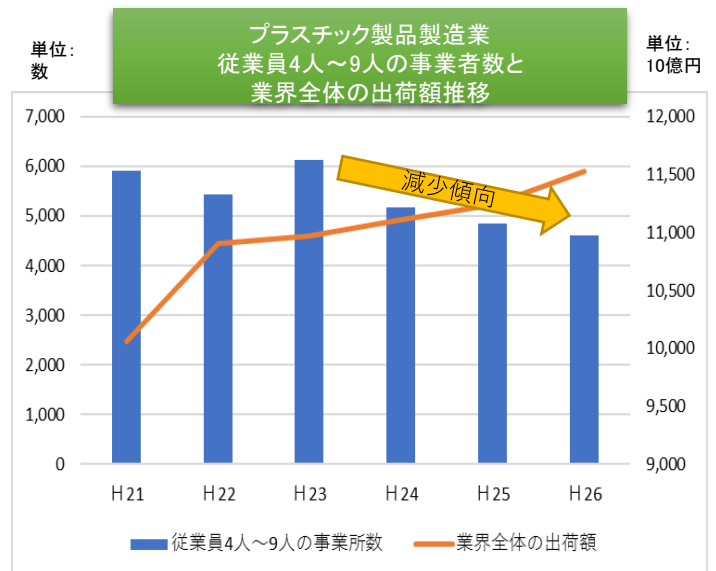
- 弊社の工場は、川崎市中原区にありプラスチック原料やプラスチック製品製造の中心地である京浜臨海部の工業地帯に近く、アクセスに優れた立地環境にあります。



コラム：小回りの利く小規模工場は貴重な存在に！

プラスチック製品製造業の出荷額は、近年安定的に推移していますが、小規模事業者数は、平成23年度をピークに減少しています。

試作や小ロットの製造など、フレキシブルに対応できる小規模の成形工場は貴重な存在になってきています。



出典：経済産業省「工業統計表」

3.ひと味違う町工場

3-3 自社製品の開発・生産・販売

<フレグランスカード（香りのカード）> 商品名「アロマ レフレール」

★産官学の連携で自社製品の開発・生産・販売を実現！

開発のきっかけ

川崎市の知的財産交流事業を通じて、富士通の開放特許である「芳香拡散技術」を導入することができ、また、専修大学経済学部遠山ゼミとの連携のもと、女学生の感性を取り入れたことにより、「フレグランスカード」を商品として生み出すことができました。

フレグランスカードとは



フレグランスカードとは、好きな香りをつけて楽しむ、小さなオアシスです。アロマオイルや香水の香りを、いつでも持ち運べるカード型の新しいフレグランスアイテムです。

社員一丸となって商品化を実現

「フレグランスカード」は、キャッシュカードサイズの樹脂に多孔質セラミック製の芳香チップをはめ込んだ構造です。商品化に向け、社員が一丸となり、樹脂製のカードに、芳香チップを収納するための溶接技術を開発しました。さらに、カードのデザイン



商品化の相乗効果

産官学連携による自社製品の開発は、マスコミなどで大きく取り上げられたことから、新たな知己を得るとともに、弊社の知名度の向上や、弊社事業の広告宣伝に大きな効果がありました。

【トピックス】

プレス発表により多くの新聞に取り上げられました！

ワールドビジネスサテライト「トレたま」コーナーで紹介されました！

東京ビックサイト「インターナショナル・ギフトショー」に出展しました！

3.ひと味違う町工場

3-4 人間味あふれる社長の魅力

たたき上げの豊富な経験

- 先代の急逝により24歳で社長に就任し、以来18年にわたり、プラスチック成形加工一筋で培ってきた経験と、新時代に即した適応力があり、様々な相談に的確に対応できます。

豊かな人間性と柔軟性

- 社長就任以降、多くの苦難を克服してきた中で醸成された豊かな人間性と柔軟性をあわせもち、親身になって、お客様とかかわることができます。
- 物怖じせず、裏表のない性格で、皆様と良好な関係を構築できます。

スピード感重視の行動力

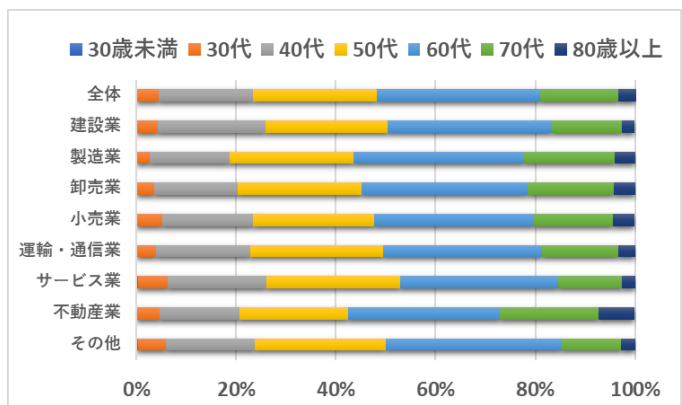
- 何よりスピード感を重視しており、「^と兔に角、^{かく}厭わずにやること」をモットーに実行しています。

コラム：社長の若さは安定した事業の基本財産

企業における経営者(社長)の高齢化が製造業でも進んでおり、中小企業では円滑な事業承継が社会問題としてクローズアップされています。

★弊社社長は、社長歴18年ながら、40代前半。今後とも生き活きと事業を継続できます。

社長の年齢別構成比



出典：帝国データバンク全国社長分析(2017年)より作成

弊社のような家族経営中心の町工場は、良くも悪くも社長の生き方・考え方がそのまま会社の性格につながります。この小冊子を手に取っていただいた皆様に弊社をご理解いただけますよう、私：松本浩秀の生き様をお話ししたいと思います。

(1) 先代の急逝

私が弊社に入社したのは専門学校を卒業した1995年、20歳のときです。入社5年目の2000年2月、先代が急逝し長男である私が2代目社長に就任することになりました。現在42歳、社長歴18年になります。

社長就任1週間後、先代の存在の大きさを思い知らされる事件が発生しました。弊社売上の7割を占める上得意先から突然発注打ち切りを告げられました。これまで弊社があったのは先代の努力と信頼の賜物であること痛感させられた出来事でした。

(2) 若さに任せた営業と経営危機脱出

私より二回りも三回りも年長の職人20名を抱え、プラスチック加工の知識も技術も持たない私にできることは、仕事を取ってくることでした。

当時、やったことは2つ。ひとつは、『会社四季報』を見ての飛び込み営業。ある大手事務機器メーカーの役員の方にお会いできた際に、何ひとつ会社のセールスポイントを説明できず呆れ笑いされました。それを察し、「仕事はいらないので営業の仕方を教えてください」と切り返したところ「今でもこんな奴がいたんだ!」と大笑いされるとともに、快諾していただきました。その方には営業のノウハウを教わることができ、今でも大いに感謝しています。

もうひとつは、先代の残した名刺ファイルを見て3,000社に電話をかけたこと。「香典代り」と言われたこともありましたが、食いつなぐだけの仕事をいただくことはできました。このような状況の中、既往取引メーカーの事業拡大に伴いアミューズメント関連の液晶事業の拡大ができ、先代の時代の売上高150百万円を2倍に伸ばすことができました。

(3) 中型成型機の導入と再度の経営危機脱出

同業他社との差別化が急務と考えた私は、処理能力350トンの射出成形機を導入しました。当時も今でも、この地域でこれほどの規模の成形機を有するところは見当たりません。液晶パネル部品など薄肉プラスチックの成形加工に特化することによって、社長就任6年目に念願の黒字転換を果たすこともできました。しかし、好事魔多しとはよく言ったものです。2008年11月に発生したリーマンショックの影響から液晶事業の受注が激減したところに、売上高の70%を占める最大顧客の倒産が発生しました。借入130百万円に対し売上高は80百万円まで落ち込み、債務超過に陥りました。

古くからの職人に退職をお願いし人件費の削減に努めました。このような中、12年間に亘る営業が実を結び大手メーカーとの取引が始まった事もあり、再び売上高150百万円まで回復することができました。

社長:松本浩秀『私の履歴書』(続き)

(4) 自社製品の開発

前記2度に亘る経営危機を経験した私は、2012年7月、利益確保が必須と考え、下請け仕事のみからの脱却の思いから『川崎市知的財産交流会』に参加しました。富士通株式会社様との出会いにより同年12月、同社の『芳香拡散技術』特許についてライセンス契約を締結するに至りました。翌2013年11月、専修大学と連携し、産学官の結晶であるカード式芳香グッズ『アロマレフレール：フレグランスカード』の販売を開始しました。

プレス発表の効果もあり、『アロマレフレール：フレグランスカード』はTV番組を初めマスコミ各社で紹介されました。また、2014年2月には東京ビッグサイトで開催された国際ナショナルギフトショーに出展し、大きな反響があり手応えを感じました。

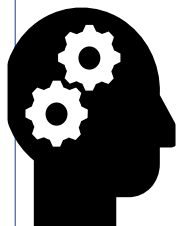
(5) 先代の教えと私の心情

社長経験18年となり弊社創業50周年を目前にした今、改めて先代の教えを噛みしめながら次の50年に思いを馳せています。急逝であったことから、ステップを踏んだ「事業承継」を受けることはありませんでしたが、振り返れば2つのことを教わったと考えています。

ひとつは、「価格のみをアピールした営業はしない」。価格に加えてスピードや品質、さらにはお客様への提案を重視しています。発注先から「明日でいいですよ」と言われても「今やります」と応えています。ふたつめは、「なるべく完成品メーカー様の近くで仕事をする」。これは弊社が重視するお客様への提案を行える場が広がると考えるからです。またこのような場を通じて、弊社および私自身を鍛えていただける機会を得る事ができるとも考えています。

自分の性格を一言で言うなら「クヨクヨしないオチャラケ人間」となるでしょう。社長が深刻な顔ばかりしていたら社員が気持ちよく仕事ができるはずがありません。いつも風通しが良く、なんでも言える会社であることを願っています。「分かり合える人たちと、楽しく好きな仕事を少しでも長くやっていきたい」、これが私の目標です。

4. 今後の事業展開（その1）



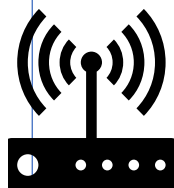
ものづくりへのこだわりを忘れずに！

将来も、プラスチック成形加工の会社であり続けられるよう、「ものづくり」へのこだわりを持ち続けます。



お客様を大切にした事業の展開！

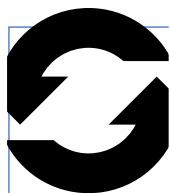
QCDの視点から、より効率的な生産を目指すとともに、常にお客様への迅速な対応など「行動力」を一層重視していきます。また、お客様への提案を重視し、お客様とお互いに切磋琢磨していくことで、より良い完成製品を生み出していきたいと考えています。



細かいニーズに対応した製品開発の実現！

同世代の経営者や同じ中小製造業の仲間たちとのネットワークを大切にしながら、エンドユーザーの細かいニーズを踏まえ、新たな発想での製品開発を実現していきます。

4. 今後の事業展開（その2）



地球環境にやさしい取組の推進！

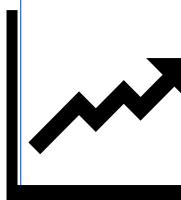
これまで取り組んできた材料の再生利用（リサイクル）に加えて、新たに再使用（リユース）に努めて、限りある資源を大切にしていきます。



新たな産官連携のチャレンジ！

東京2020オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、障害者スポーツの普及を支援するため、川崎市との連携により、選手カードの作成・販売など新たな事業展開にチャレンジしていきます。

また、同時に障害者アート作品の商品化にも取り組んでいきます。



会社の知名度向上！

自社製品である『アロマレフレール：フレグランスカード』のPRや新たな産官連携へのチャレンジなどを通じて、多くの方に知ってもらえる会社になろうと努めています。

5.会社概要

会社の概要

会社名	株式会社 松本製作所
創業	1969年（昭和44年）10月
会社所在地	神奈川県川崎市中原区井田杉山町17番35号
代表	代表取締役 松本 浩秀
従業員	3名
事業内容	プラスチック成形加工・金型設計・製作
資本金	1,000万円
工場	神奈川県川崎市中原区井田杉山町17番35号

会社の沿革

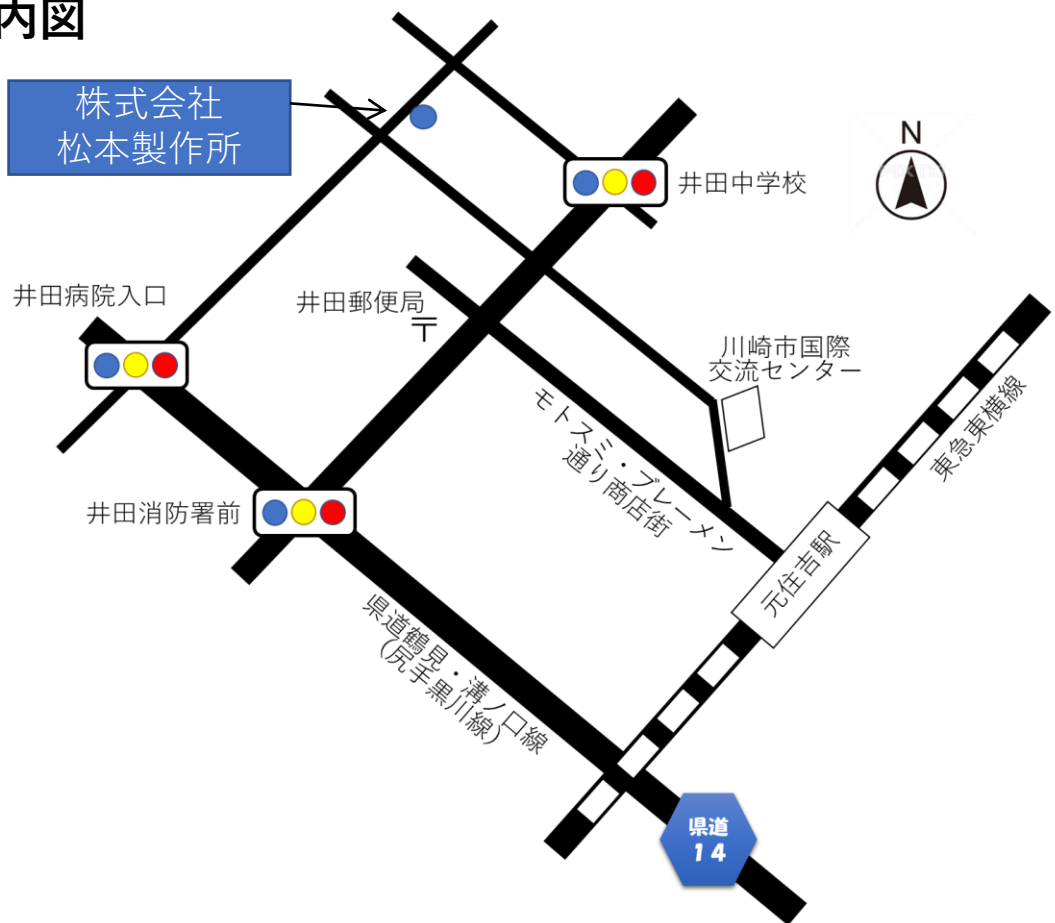
1969年(昭和44年)10月	松本製作所創立
1977年(昭和52年)3月	株式会社松本製作所設立 (松本幸治代表取締役就任)
1982年(昭和57年)5月	川崎市高津区明津に倉庫増設
1991年(平成3年)7月	本社工場改築
1997年(平成9年)	第2工場新設
2000年(平成12年)2月	代表取締役松本幸治死去
3月	松本浩秀 代表取締役就任
2009年(平成21年)10月	創立40周年を迎える
2012年(平成24年)	自社製品(アロマレフレール)開発・生産・販売
2013年(平成25年)	第2工場を廃止し、現本社工場に集約

5.会社概要

主な取引先

主な得意先様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤光樹脂株式会社 ・ 長野沖電気株式会社 ・ 昭和興産株式会社
主な提携先・協力メーカー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 株式会社清田エンジニアリング ・ 有限会社東栄精工 ・ 有限会社ミトモプリントプロセス
主な取引銀行等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三菱東京UFJ銀行 元住吉支店 ・ 横浜銀行 元住吉支店 ・ 川崎信用金庫 住吉支店

案内図



あとかき

魅力発信レポート（知的資産経営報告書）とは

知的資産とは、財務諸表に表れてこない、目に見えにくい人材、技術、技能、経営理念、外注先とのネットワークなど企業の競争力の源泉を意味します。

これら非財務情報を、債権者、顧客（お客様）、従業員等にわかりやすく伝え、企業の将来性に関する認識の共有化を図ることを目的に、魅力発信レポート（知的資産経営報告書）は作成されています。

本レポートは、経済産業省が公表している「知的経営資産の開示ガイドライン」に準拠しています。

留意事項

本レポートに記載しました経営環境や事業展開などは、現在入手可能な情報をもとに弊社の判断で掲載しています。

そのため、将来、弊社を取り巻く経営環境の変化によって、記載内容などを変更すべき必要があります。

よって、本レポートに掲載した内容や数値などを、弊社が将来に亘って保障するものではないことを、十分ご承知願います。

○ 作成者

株式会社 松本製作所 代表取締役 松本 浩秀
神奈川県川崎市中原区井田杉山町17番35号

○ 作成支援

一般社団法人 神奈川県中小企業診断協会
知的資産経営プロジェクトメンバー

中小企業診断士 小林 幸文、高取 二郎、寺野 仁、難波 達夫、林 道夫

○ お問い合わせ

株式会社 松本製作所 代表取締役 松本 浩秀
Tel 044-766-0034 Fax 044-751-8126

E-mail mss-h6@sea.plala.or.jp

ホームページ <http://mss-1969.com/index.html>

発行 2017年(平成29年)11月